

庁議の概要

開催日 平成28年4月25日（月）

◎項目

- 1 平成28年熊本地震に関する高知県の被災地支援の状況について【危機管理部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

- 1 平成28年熊本地震に関する高知県の被災地支援の状況について【危機管理部】
危機管理部より、熊本地震に関する支援状況について報告があった。

<主な協議の概要>

（危機管理部：説明）

毎日15時現在の熊本地震に関する支援状況を夕方にホームページにアップするようになっている。

高知県災害応援隊の派遣について、高知県、高知市、須崎市、黒潮町、総勢9名で、23日に熊本県へ出発し、24日に車中で避難されている方用のテント張りを益城町の運動公園でAMDの皆さんと行った。また、益城町に入っていた関西広域連合と打ち合わせをして、避難所である町立の広安西小学校で、学校の皆さんは授業再開に専念していただくように、県隊で避難所運営を支援しようという打ち合わせをしている。

（地域福祉部）

DPATも熊本市内を中心に、主に避難所の方へ医師会の医師団の要請に基づいて入っている。

（健康政策部）

今日まで第1班、明日から第2班になる。現在南阿蘇の中学校へ入っており、感染症の関係で、ノロウイルスは終息に向かっているようだが、インフルエンザがこれから危ないということで健康管理の関係をやっている。医療チームは充足してきており、これからは家で住まわれている方を回るといった形になっていくのではないかと報告を受けている。

（会計管理局）

義援金については4月19日から受付を始め、先週22日の金曜日の時点で181件、444万円余りの義援金をいただいている。寄附の気持ちをお持ちの県職員の背中を後押しする意味でも、各部局の皆様に義援金受付について周知をお願いしたい。

（土木部）

熊本の建築物の応急危険度判定士、先週第1陣を派遣し土曜日に戻った。第2陣は先週末に高知市の職員で構成されたチームが派遣されており、今週第3陣、県の職員と民間企業の合同チームで行く準備を進めている。

（警察本部）

広域緊急援助隊等を16日から出していたが、ヘリコプターの活動は終了した。機動

隊等も既に帰ってきた。交通が非常に混雑しており、交通部隊が今日まで活動している。非常に治安が不安だという話もあるので、自動車警ら隊(パトカー)延べ4台を出して、28日から5月の連休の終わりごろまで活動する。

(総務部)

前回の東日本大震災のとき、発災後2週間後頃から人的要請が増えた時期がある。今後人的要請が出てくる可能性が十分にあり、まだまだ人が足りていない状況である。各部局に職員の派遣をお願いするかもしれない。

(知事)

引き続き、熊本の皆さんをしっかりと応援していく。

2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配布の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○南海トラフ地震対策の充実・強化について

(公営企業局)

熊本地震の被災地支援で DMAT の活動から帰ってきたあき総合病院チームと幡多けんみん病院チームから、南海トラフ地震対策を進めて行くうえで、他県からの DMAT の受入体制の整備や受入に向けた訓練を重点的に行う必要性、さらには早期の情報把握に基づき少しでも早く派遣要請を行えば、より多くの DMAT の支援活動が期待できるのではないかといった意見をもらっており、今後の訓練等に活かしていきたい。

(知事)

次回の南海トラフ地震対策推進本部会議において、現地に派遣された方の意見をまとめ、報告するようお願いする。